

コンクリートブロック塀などの 所有者・管理者の皆さまへ

ブロック塀の 点検について

6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震によるブロック塀の倒壊被害がありました。住民の皆さんも管理しているブロック塀などについて自己点検を行ってください。

ブロック塀の チェックポイント

まず外観で①～⑥をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

専門家に相談しましょう

塀に鉄筋が入っているか

- ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm以下の間隔で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか
- ・基礎の根入れ深さは30cm以上か(塀の高さが1.2m超の場合)

出典：パンフレット「地震からわが家を守る」日本建築防災協会2013.1より一部改

⑥ 鉄筋

① 高さ

- ##### 塀は高すぎないか
- 塀の高さは地盤から2.2m以下か

② ひび割れ

- ##### 塀は健全か
- 塀に傾き、ひび割れはないか

⑤ 厚さ

③ 控え壁

- ##### 控え壁はあるか
- 塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか(塀の高さが1.2m超の場合)

④ 根入れ

- ##### 塀の厚さは十分か
- 塀の厚さは10cm以上か(塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上)

- ##### 基礎があるか
- コンクリートの基礎があるか

組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)の塀の場合

- ①塀の高さは地盤から1.2m以下か
 - ②塀に傾き、ひび割れはないか
 - ③塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか
 - ④基礎があるか
 - ⑤塀の厚さは十分か
- 専門家に相談しましょう
- ⑥基礎の根入れ深さは20cm以上か

防災ラジオを販売します

問い合わせ
防災交通課 内線 2 3 5

地震や風水害など災害に関する緊急時の放送や、防犯・火災情報などを聞くことができる防災ラジオを販売します。



防災ラジオの主な機能

ラジオ放送を聞いている最中でも、同報無線放送を受信すると自動的に防災情報などの放送に切り替わります。

- ・町防災情報などの放送の受信
- ・AM・FM ラジオ放送の受信
- ・LED ライト装備
- ・電源は AC アダプターと単三乾電池に対応

防災ラジオの注意点

●同報無線は音量調整できません

防災ラジオから流れる同報無線放送は、音量の調節ができません。

●同報無線が受信しにくい場合があります

役場屋上から電波を発しているため、山や建物で遮られている場合や気密性の高い住宅などの場合、電波を受信しにくい場合があります。

※屋内アンテナを使用することにより、受信感度が向上する場合があります。屋内アンテナは、防災ラジオ購入後、防災交通課から必要な方に無料で配布します。

防災ラジオの販売

- 販売時期 12月予定
- 販売台数 200台
- 価格 1,500円
- その他

- ・応募者多数の場合は、現在、同報無線戸別受信機または防災ラジオをお持ちでない方を優先
- ・原則、使用後の返品不可

●購入方法

10月1日(月)～31日(水)に申込書を防災交通課、各地区コミュニティセンターへ

※申込書は防災交通課、各地区コミュニティセンターで配布または町ホームページからダウンロード

※11月中旬に販売日などのお知らせを郵送

町ホームページ



危険性が確認された場合

建築士などの専門家やブロック塀の施工業者に相談するなど速やかな注意表示および補修、撤去などの対応をお願いします。

なお、安全性が確認された場合でも、今後も引き続き適正な管理に努めていただきますようお願いいたします。不明点などがありましたら問い合わせ先へ

●問い合わせ

都市計画課 内線 2 6 7

ブロック塀撤去の補助金

町では、緑化の推進と快適で良好な住環境づくりの促進をするとともに、ブロック塀、コンクリート塀、レンガ塀などの倒壊による災害を未然に防ぐため、次の方に補助金を交付する制度があります。

●交付対象

- ・生垣を設置する方
- ・ブロック塀などを撤去する方

●問い合わせ

都市整備課 内線 2 6 5